



命 ひびき合い

確かな学力
たくましい身心
豊かな心を
共に育て中

※学校HPに「命ひびきあう北っこ」ブログを、週ごとに更新中。是非、スマホでご覧ください。

台風一過 運動会へ向け「ソーラン衣装贈呈式」

「今生きているほとんどの人は経験したことがない」と報道され、大変心配した台風14号も、なんとか通過しました。保護者の皆様、地域の方々は、どう過ごされたでしょうか？北鹿島小学校体育館には、17世帯28名の方が避難してこられたそうです。お世話いただいた市役所職員の方々、有り難うございました。学校の被害は、5年生教室横の教材コーナーの雨漏りと敷地内の木の枝の折れが1本ありました。運動場東側の木の枝と葉が柵を越え、道や田畑まで散乱しているものもありましたので、井上先生（学校用務員）が休日出勤して片付けてくださいました。保護者の中にも心配して、校舎の外回りを見回っていただいている方もありました。有り難うございました。また、わたしが朝、通勤していると、田んぼの稲が倒れていたりと、それを心配げに見回っておられる方々の姿を見かけました。大きな被害がなかったことをお祈り申し上げます。

上の写真右側に並んでおられるのは、贈呈式に参加いただいた衣装製作ボランティアの方々です。手前の方から「西岡幸江様（森）」「原崎ツル子様（森）」「小池瞳様（母親部 乙丸）」「堀みゆき様（井手）」です。北小の宝として、今後20年、30年と大切にに使わせていただきます。他のボランティアスタッフの方々、のぼり旗を寄贈していただいた方々、ご支援いただいた全ての校区民の方々に感謝いたします。



令和4年9月20日、全校児童の前で「北小ソーラン衣装」の贈呈式



本番に使用するソーラン衣装を着て、練習に向かう5・6年生

志保先生がしばらくの間お休みになられます

本校養護教諭の土井志保先生が、個人的なやむを得ない事情のため、9月27日からの約3週間、学校をお休みになられます。子どもたちが、学校生活で不安を感じることがないように、職員も組織をあげてサポートしていきたいと考えていますが、養護教諭が不在となりますので、この期間中は、特に家庭でも体調管理に気をつけてください。もし学校で体調不良を訴える児童が出た場合、すぐに保護者に連絡し、下校させることが増えると思います。

ご迷惑をおかけしますが、どうかご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



令和4年9月9日、3年1組松本幸士学級で「手洗い指導」を行う志保先生

学力向上は、生き方を磨くことから～6年生全国調査の結果から～

4月19日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を佐賀県と比較してお知らせします。

【基準】 佐賀県の平均との差が

10ポイント以上の場合…「高い」あるいは「低い」

5ポイント以上の場合…「やや高い」「やや低い」

5ポイント未満の場合…「ほぼ同じ」

- 6年生の結果 国語「ほぼ同じ」
算数「やや高い」
理科「ほぼ同じ」



【今後の方策】国語で、仲間と話し合いをす

る場面が問題に出ていました。こういった場面では、相手と互いの立場を尊重して話し合うことができるかどうか問われています。子ども等は「必要なことを質問して、話の中心をとらえること」はできています。しかし「相手とのつながりをつくる言葉の働きをとらえること」に課題が見られました。

現在、国が子ども等に求めている将来につながる基礎基本の学力は、一人で仕事をできる力、だけでなく、仲間と協働して仕事ができるかどうかです。自分がだれかと話す際には、相手との間に好ましい関係を築き、その関係を継続させる言葉の働きに気付くことができる力を育てていなくてはなりません。

北鹿島小学校では、この3年間の努力で、ほとんどの児童が「二声あいさつ」「笑顔であいさつ」ができるようになりました。今年4月からは「ていねいなことばづかい」ができるように全職員力を上げて取り組んでいます。なぜ「あいさつ」をしないといけないのか、なぜ、わたしたちは「ていねい」に話すべきなのか、3年生以上の子たちには、その意味を学校でも家庭でも折りを見て話していくべきだと考えています。

自分のよさを広げる子 友達のよさを認め合う子等

夏休み前は、校長が先に「おはようございます」と子ども等にあいさつしていました。夏休み明けは、子ども等の「おはようございます」を待ってから「おはよう」とあいさつを返しています。10人のうち8人は、自分からあいさつができています。家庭でもきつと温かい声かけを日々していただいているのだと感謝申し上げます。「おはよう」「いってらっしゃい」「おかえり」「おやすみなさい」の声があふれる家庭には、きつとたくさんの幸せがやってくるでしょうね。

全校朝会では、がんばっている子等の表彰もしました。紹介します。

■第68回青少年読書感想文コンクール 鹿島嬉野藤津地区審査で入選した子ども

1年生	入選	田中 煌之助（おうのすけ）さん（三部）	「ばあばにえがおをとどけてあげる」
2年生	特選	山口 夏希（なつき）さん（本町）	「どうぶつの赤ちゃん生まれた」
	佳作	宮崎 華（はな）さん（新籠）	「ばあばにえがおをとどけてあげる」
3年生	入選	田中 祐太郎さん（常広）	「おもいではなくならない」
	佳作	森田 偉央（いお）さん（中村）	「ちっちゃな木のおはなし」
4年生	佳作	宮崎 泰雅（たいが）さん（新籠）	「ちいさなこえがみらいをかえる」
	佳作	橋本 竜馬（りゅうま）さん（土井丸）	「耳の聞こえないメジャーリーガー」
5年生	入選	塚島（つかじま）春花さん（新籠）	「捨てないパン屋の挑戦 しあわせのレシピ」
	入選	橋本 凌茉（りょうま）さん（森）	「レンタルロボットを読んで」

■よんでおきたい35さつ 完読賞

3年生	中野 由菜（ゆな）さん（森）
4年生	松枝 亜実（つぐみ）さん（乙丸） 向井 春花さん（井手）
	山口 妃翠（ひすい）さん（中村）

■第22回竹崎城杯学童軟式野球大会 準優勝 北鹿島少年野球クラブ

■第67回祐徳つつじ祭りスケッチ会 優秀賞4年生田中 咲良（さくら）さん（中村）

■学童オリンピック 柔道個人 2年生の部 2年生 森 夢乃（ゆの）さん（古城）